

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (小学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

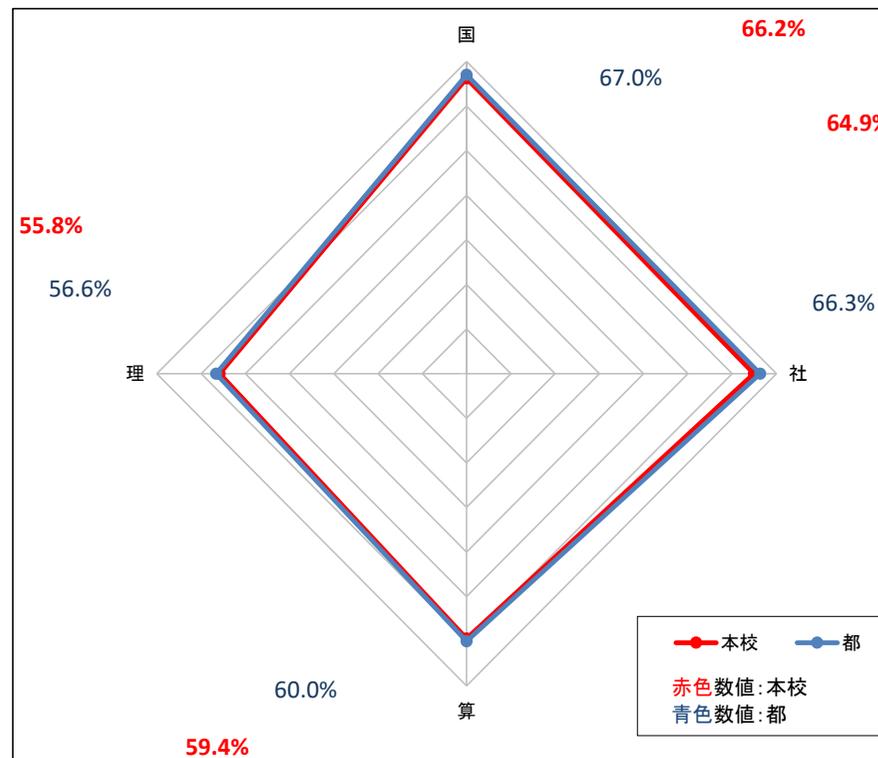
#N/A

国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	65.9%	70.9%	67.1%	65.9%	67.0%
本校	60.9%	70.3%	67.8%	65.5%	66.2%
都との差	-5.0	-0.6	0.7	-0.4	-0.8

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解	
東京都	63.1%	66.5%	69.8%	66.3%
本校	61.7%	63.5%	67.4%	64.9%
都との差	-1.4	-3.0	-2.4	-1.4

算数	教科の観点			教科の合計
	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	
東京都	46.4%	65.2%	67.8%	60.0%
本校	44.8%	66.1%	65.4%	59.4%
都との差	-1.6	0.9	-2.4	-0.6

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
東京都	52.9%	66.4%	55.0%	56.6%
本校	55.9%	63.6%	51.8%	55.8%
都との差	3.0	-2.8	-3.2	-0.8



《都との比較にみる本校の状況》

＜考察＞
四教科全てにおいて東京都の平均を約1ポイント下回る結果となった。

【国語】

＜話す・聞く能力＞約5ポイント都の平均を下回っている。
＜読む＞都の平均を0.4ポイント上回っている。

【社会】

＜知識・理解＞都の平均を約3ポイント下回っている。

【算数】

＜知識・理解＞都の平均を約2ポイント下回っている。
＜技能＞都の平均を約1ポイント上回っている。

【理科】

＜知識・理解＞都の平均を約3ポイント下回っている。
＜思考・判断＞都の平均を約3ポイント上回っている。

《授業改善のポイント》

【国語】

＜話す・聞く能力＞日常の授業において、互いの意見の共通点や相違点に着目して整理することができるように指導していく。

＜読む＞序論・本論・結論を意識した読み方を今後も日常から意識して指導を行っていく。

【社会】

＜知識・理解＞日常の授業より地図帳を活用し、位置関係を確認させる等の指導の充実を図っていく。

【算数】

＜知識・理解＞数を一つの見方や表し方ではなく、複数の見方や表し方ができるように数の感覚を豊かにしていく授業を意図的に組んでいく。
＜技能＞計算の仕方を筋道を立てて説明させる指導を継続していく。

【理科】

＜知識・理解＞学習を通して身に付けた科学的な言葉や概念を使用して説明する等の指導の充実を図っていく。

＜思考・判断＞今後も「問題の把握・設定の場面」で複数の自然の事物・現象を比較し、その共通点や相違点を捉える活動を授業に意図的に組み込んでいく。

《家庭・地域への働きかけ》

・保護者会で調査結果の傾向と課題について保護者に説明し、教育活動への理解を深める。

・「確かな学力」の向上を図るためには、日々の授業の充実はもちろん、家庭学習の習慣化が大切であることを説明し、学校で決めている学習時間(学年×10+10分)と自主学習定着への協力を求める。

・学習の準備が日々できていない児童に対しては、家庭との連携協力のもとに改善を図る。

・学校支援ボランティアの組織化や地域住民、社会人講師等地域人材の活用等により、児童の実態に応じたきめ細やかな授業を支援する。

・児童が毎日の授業に意欲的に取り組む基盤となる生活リズムの確立や規範意識の醸成などを家庭においても図ってもらうよう協力を求める。